

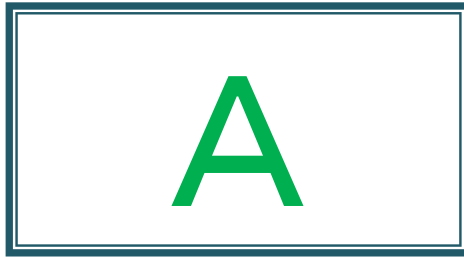
彦根市一般廃棄物処理基本計画 平成29年度 進捗状況評価

平成30年？月

彦根市廃棄物減量等推進審議会

※ 彦根市一般廃棄物処理基本計画の計画年度は、平成25年度から平成34年度です。

減量・資源化目標数値に対する総合評価



評価平均点 2.60 点
(平成 28 年度 評価平均点 2.67 点)

- 凡例
- A : 進捗管理値より進んでいる
 - B : 進捗管理値より遅れている
 - C : 進捗管理値より遅れており、かつ平成 28 年度よりも悪化している

※ 平成 29 年度の「減量・資源化目標数値に対する総合評価」については、「ごみ処理編」および「地域行動計画編」の「総合実績」において、「○」、「△」、「×」で評価したものを、次の方法により点数化し評価している。

点数・・・	○ : 3 点	△ : 2 点	× : 1 点
評価・・・	平均点が 2.5 点以上	A	1.5 点以上 2.5 点未満 : B 1.5 点未満 : C

減量・資源化施策の取組状況に対する総合評価



評価平均点 2.?? 点
(平成 28 年度 評価平均点 2.3 点)

- 凡例
- A : 取組は十分されている
 - B : 取組はされているが不十分
 - C : 取組はされていない

※ 平成 29 年度の「減量・資源化施策の取組状況に対する総合評価」については、「ごみ処理編」および「地域行動計画編」での施策ごとの取組状況とその評価において、「○」、「△」、「×」で評価したものを「減量・資源化目標数値に対する総合評価」と同様に点数化し評価している。

目 次

ごみ処理編

- 1 趣旨
- 2 基本計画の取組状況について
 - (1) 総合実績
 - (2) 評価の概要
 - (3) 評価の詳細
 - ア ごみ等排出量を減らすための取組について
 - イ 再生利用率を上げるための取組について
 - ウ 最終処分量を減らすための取組について
 - エ 焼却量を減らすための取組について

地域行動計画編

- 1 趣旨
- 2 行動計画の取組状況について
 - (1) 総合実績
 - (2) 目標ごとの取組状況とその評価
 - ア 1人1日当たりのごみ等排出量を減らすための取組について
 - イ 1人1日当たりの生ごみ排出量を減らすための取組について
 - ウ 古紙・衣類の資源化量を増やすための取組について
 - エ 出前講座やイベント参加者を増やすための取組について

総合評価

資料編

平成 29 年度 一般廃棄物処理基本計画の取組状況について

ごみ処理編

1 趣旨

彦根市一般廃棄物処理基本計画（平成 25 年度から平成 34 年度）の着実な推進を図っていくため、施策の進捗状況について評価を行い、今後の取組の方向性を明らかにするなど、基本計画の取組状況について報告するもの

2 基本計画の取組状況について

(1) 総合実績

ア 目標値と実績値

旧目標値による評価	基準値 (23 年度)	実績値 (28 年度)	実績値 (29 年度)	進捗管理値 ※ (29 年度)	目標値 (34 年度)	評価
ごみ等排出量 (t) ※	44,537	36,877	36,210	40,354	37,000	○
(g/人・日) ※	1,086	895	880	975	899	○
再生利用率 (%)	14.2	16.9	16.5	17.9	20.0	×
最終処分量 (t)	7,682	4,290	4,258	6,135	5,200	○
焼却量 (t)	35,061	30,286	29,874	31,264	28,100	○

(参考) 新目標値による評価			実績値 (29 年度)	進捗管理値 ※ (29 年度)	目標値 (34 年度)	評価
ごみ等排出量 (t) ※	→	→	36,210	36,615	35,300	○
(g/人・日) ※	→	→	880	893	870	○
再生利用率 (%)	→	→	16.5	17.4	20.0	×
最終処分量 (t)	→	→	4,258	4,218	3,943	△
焼却量 (t)	→	→	29,874	29,908	28,018	○

※ ごみ等：彦根市では、「燃やすごみ」や「埋立ごみ」などを「ごみ」と称し、リサイクルできる「古紙」、「缶・びん」などを「資源物」として分別意識の向上を促進している。これら「ごみ」と「資源物」を併せた呼称を「ごみ等」という。

※ ごみ等排出量 (t)：家庭系一般廃棄物排出量と事業系一般廃棄物排出量の合算値

※ ごみ等排出量 (g/人・日)：「1 人 1 日当たりのごみ等排出量」を示したもので、「ごみ等排出量」を「彦根市人口（各年 10 月 1 日時点）」と「1 年の日数（365 日または 366 日）」で除したものの

※ 進捗管理値：平成 34 年度の目標値を達成するために、比例配分で各年度に達成すべき値

目標値と実績値の評価凡例

○：平成 29 年度実績値は、進捗管理値を達成している。

△：平成 29 年度実績値は、平成 28 年度と比較して改善しているが、進捗管理値には達していない。

×：平成 29 年度実績値は、平成 28 年度と比較して悪化しており、進捗管理値にも達していない。

イ 目標に対する達成状況

ごみ等の減量の状況（資料編： ）

再生利用率の状況（資料編： ）

最終処分の状況（資料編： ）

焼却の状況（資料編： ）

(2) 評価の概要

ごみ等排出量を減らすための取組

再生利用率を上げるための取組

最終処分量を減らすための取組

焼却量を減らすための取組

(3) 評価の詳細

総合実績と評価の詳細を示します。

「評価」の項目については、下記の凡例により評価しています。

定量的評価の凡例（数値で表せるもの）

- ：平成 29 年度実績値は、進捗管理値を達成している。
- △：平成 29 年度実績値は、平成 28 年度と比較して改善しているが、進捗管理値には達していない。
- ×：平成 29 年度実績値は、平成 28 年度と比較して悪化しており、進捗管理値にも達していない。

定性的評価の凡例（数値で表せないもの）

- ：取組は十分されている
- △：取組はされているが不十分
- ×：取組はされていない

ア ごみ等排出量を減らすための取組について

(ア) 2R(リデュース:発生抑制、リユース:再使用)の推進

a 発生抑制(リデュース)の推進

施策	平成 29 年度 の取組状況																					
市民一人ひとりの ごみ減量化への行 動を促す仕組みづ くり	<p>○広報ひこねへ「ごみの減量と資源化トピックス」を掲載した。 (資料編参照)</p> <p>○掲載回数</p> <table border="1"> <tr> <td>23 年度</td> <td>24 年度</td> <td>25 年度</td> <td>26 年度</td> <td>27 年度</td> <td>28 年度</td> <td>29 年度</td> </tr> <tr> <td>一 回</td> <td>3 回</td> <td>12 回</td> <td>11 回</td> <td>10 回</td> <td>11 回</td> <td>12 回</td> </tr> </table>	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	一 回	3 回	12 回	11 回	10 回	11 回	12 回							
23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度																
一 回	3 回	12 回	11 回	10 回	11 回	12 回																
買い過ぎない・作り 過ぎない・食べ残さ ないライフスタイ ルの推進	<p>○ひこねエコフェスタ 2017 において、一般社団法人滋賀グリーン購入 ネットワークの啓発と連携し、クイズラリーを兼ねてグリーン購入を推 進するパネル展示を行った。</p> <p>○広報ひこねにおいて、食品ロスや買い物ごみに関する記事を掲載し、啓 発を図った。(2017/5・15 号、12・1 号、2018/2・15 号、3・15 号)</p> <p>○食品ロスの状況を把握するため、家庭から排出される燃やすごみの組成 調査を実施し、市ホームページや広報ひこねで結果を公表し、周知啓発 を行った。</p>																					
マイバッグ・マイボ トル・マイ箸・マイ カップ持参の推進	<p>○レジ袋平均辞退率</p> <table border="1"> <tr> <td>23 年度</td> <td>24 年度</td> <td>25 年度</td> <td>26 年度</td> <td>27 年度</td> <td>28 年度</td> <td>29 年度</td> </tr> <tr> <td>— %</td> <td>51.6%</td> <td>89.2%</td> <td>89.7%</td> <td>89.9%</td> <td>89.5%</td> <td>??.%</td> </tr> </table> <p>※レジ袋辞退率＝レジ袋辞退人数÷レジ通過人数×100 ※レジ袋平均辞退率＝全店舗の辞退率の合計÷全店舗数 (滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会の集計から)</p>	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	— %	51.6%	89.2%	89.7%	89.9%	89.5%	??.%							
23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度																
— %	51.6%	89.2%	89.7%	89.9%	89.5%	??.%																
市民・市民団体・事 業者の連携による エコ包装の推進	<p>○実施できていない。</p>																					
地域への出前講座 の充実	<p>○依頼があった自治会等に対し、分別方法やごみの状況についての出前講 座を実施した。</p> <p>○出前講座開催数および参加者数</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>24 年度</td> <td>25 年度</td> <td>26 年度</td> <td>27 年度</td> <td>28 年度</td> <td>29 年度</td> </tr> <tr> <td>開催数</td> <td>8 回</td> <td>13 回</td> <td>17 回</td> <td>25 回</td> <td>26 回</td> <td>21 回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>643 人</td> <td>960 人</td> <td>1219 人</td> <td>1434 人</td> <td>1657 人</td> <td>633 人</td> </tr> </table>		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	開催数	8 回	13 回	17 回	25 回	26 回	21 回	参加者数	643 人	960 人	1219 人	1434 人	1657 人	633 人
	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度																
開催数	8 回	13 回	17 回	25 回	26 回	21 回																
参加者数	643 人	960 人	1219 人	1434 人	1657 人	633 人																

取組に対する審議会の評価	評価	今後の取組

b 再使用(リユース)の推進

施策	平成 29 年度の実施状況														
エコマーケットなどのリユース情報の提供	<p>○エコマーケット「夢畑」や市内で開催されるフリーマーケットなどに関する情報を市ホームページや広報ひこねを活用し情報提供を行った。</p> <p>○情報提供回数</p> <table border="1"> <tr> <td>23年度</td> <td>24年度</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> </tr> <tr> <td>17回</td> <td>19回</td> <td>24回</td> <td>22回</td> <td>21回</td> <td>18回</td> <td>15回</td> </tr> </table>	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	17回	19回	24回	22回	21回	18回	15回
23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度									
17回	19回	24回	22回	21回	18回	15回									
リユース食器の普及推進	○実施できていない。														
リターナブル瓶の普及推進	○実施できていない。														

(イ) 事業系ごみの適正排出の推進

施策	平成 29 年度の実施状況
紙類の再生利用の促進	○事業系廃棄物の適正な排出や3R(リデュース・リユース・リサイクル)の啓発を目的として、「事業系ごみの分け方・出し方 豆知識」を作成した。
容器包装プラスチックの混入防止の啓発・指導徹底	<p>○事業系一般廃棄物収集運搬許可業者に対する搬入物検査にて、不適正な搬入については、指導および処分を継続して実施している。</p> <p>○事業系廃棄物の適正な排出や3R(リデュース・リユース・リサイクル)の啓発を目的として、「事業系ごみの分け方・出し方 豆知識」を作成した。</p>
事業系食品リサイクルの促進	<p>○滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会に参画し、「三方よし！！でフードエコ・プロジェクト」として市ホームページで「三方よしフードエコ推奨店」制度の周知、推奨店の取組紹介を行った。</p> <p>○彦根市内推奨店舗数(食料品・小売店2件、飲食店・宿泊施設1件)</p> <p>○外食時の食べきりを推進するため、忘年会・新年会シーズンに市ホームページや広報ひこねで「30・10(さんまる・いちまる)運動」の啓発を行った。</p>

取組に対する審議会の評価	評価	今後の取組

取組に対する審議会の評価	評価	今後の取組

(ウ) 事業者との連携を深める

施策	平成 29 年度の実施状況														
スーパー等店舗での古紙・衣類回収の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○市ホームページにおいて、市内で店頭回収を実施する事業者の情報を公開している。 ○5事業者9店舗に古紙の回収場所が設置されており、平成29年度における回収量は、1,239トン(4事業者8店舗分の合計)となっている。 														
デポジット制度やレジ袋有料化の検討	<ul style="list-style-type: none"> ○滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会に参画し、県内におけるスーパー等でのレジ袋の無料配布の中止、マイバッグ等の持参の啓発に努めている。 ○「滋賀県におけるレジ袋削減の取組に関する協定」締結状況(市内9事業者17店舗 資料編参照) ○レジ袋使用枚数(無料配布中止実施事業者店舗1店舗当たりの平均値) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>枚数</td> <td>523,407枚</td> <td>101,489枚</td> <td>74,420枚</td> <td>69,940枚</td> <td>75,351枚</td> <td>????枚</td> </tr> </tbody> </table> (滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会の集計から) 		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	枚数	523,407枚	101,489枚	74,420枚	69,940枚	75,351枚	????枚
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度									
枚数	523,407枚	101,489枚	74,420枚	69,940枚	75,351枚	????枚									

(エ) 越境ごみ対策の強化

施策	平成 29 年度の実施状況																									
搬入時の確認強化	<ul style="list-style-type: none"> ○事業系一般廃棄物の収集運搬許可業者に対する搬入物検査を実施し、不適切な搬入に対して「彦根市廃棄物の処理および清掃に関する条例施行規則」、「彦根市一般廃棄物収集運搬許可業者処分要領」を基に、指導および処分を継続して実施している。 ○搬入物検査の結果 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>11回</td> <td>13回</td> <td>5回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>累計実施事業者数</td> <td>19社</td> <td>54社</td> <td>26社</td> <td>25社</td> </tr> <tr> <td>違反件数</td> <td>13件</td> <td>17件</td> <td>4件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>違反内容</td> <td>越境 分別違反</td> <td>越境 分別違反</td> <td>産廃の混入</td> <td>産廃の混入</td> </tr> </tbody> </table> ○清掃センターへの搬入時に身分証明書の確認などにより、ごみの排出場所の確認を行い、家庭系一般廃棄物の搬入に対する越境ごみ対策を実施している。 		26年度	27年度	28年度	29年度	実施回数	11回	13回	5回	4回	累計実施事業者数	19社	54社	26社	25社	違反件数	13件	17件	4件	2件	違反内容	越境 分別違反	越境 分別違反	産廃の混入	産廃の混入
	26年度	27年度	28年度	29年度																						
実施回数	11回	13回	5回	4回																						
累計実施事業者数	19社	54社	26社	25社																						
違反件数	13件	17件	4件	2件																						
違反内容	越境 分別違反	越境 分別違反	産廃の混入	産廃の混入																						
料金体系の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみ処理手数料の改定は、実施していない。 																									

取組に対する審議会の評価	評価	今後の取組

取組に対する審議会の評価	評価	今後の取組

イ 再生利用率を上げるための取組について

(ア) 新たな回収区分の拡大による再生利用の促進

施策	平成 29 年度 の 取組 状況																					
各種リサイクルの推進	<p>○広報ひこね「ごみの減量と資源化トピックス」を通じて、リサイクルの推進に係る記事を掲載し啓発を図った。(2017/4・15号、6・15号、7・15号、9・15号)</p> <p>○自治会やPTAなどに対し、古紙や衣類の集団回収の奨励金を継続して交付した。</p> <p>○リサイクル活動推進事業奨励金交付実績</p> <table border="1" data-bbox="454 705 1492 840"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回収量</td> <td>2,853 t</td> <td>2,753 t</td> <td>2,594 t</td> <td>2,384 t</td> <td>2,210 t</td> <td>2,013 t</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>5,705 千円</td> <td>5,506 千円</td> <td>5,188 千円</td> <td>4,768 千円</td> <td>4,420 千円</td> <td>4,027 千円</td> </tr> </tbody> </table>		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	回収量	2,853 t	2,753 t	2,594 t	2,384 t	2,210 t	2,013 t	交付額	5,705 千円	5,506 千円	5,188 千円	4,768 千円	4,420 千円	4,027 千円
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度																
回収量	2,853 t	2,753 t	2,594 t	2,384 t	2,210 t	2,013 t																
交付額	5,705 千円	5,506 千円	5,188 千円	4,768 千円	4,420 千円	4,027 千円																
新しい資源化技術の取入れ検討	<p>○草木・剪定枝、焼却灰、使用済蛍光管の資源化を平成 27 年度から開始し、使用済電球や水銀含有製品の分別回収を平成 29 年度から開始した。</p> <p>○資源化量</p> <table border="1" data-bbox="454 1153 1173 1332"> <thead> <tr> <th></th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>草木・剪定枝</td> <td>691 t</td> <td>850 t</td> <td>773 t</td> </tr> <tr> <td>焼却灰</td> <td>96 t</td> <td>97 t</td> <td>99 t</td> </tr> <tr> <td>使用済蛍光管等</td> <td>1 t</td> <td>2 t</td> <td>3 t</td> </tr> </tbody> </table>		27年度	28年度	29年度	草木・剪定枝	691 t	850 t	773 t	焼却灰	96 t	97 t	99 t	使用済蛍光管等	1 t	2 t	3 t					
	27年度	28年度	29年度																			
草木・剪定枝	691 t	850 t	773 t																			
焼却灰	96 t	97 t	99 t																			
使用済蛍光管等	1 t	2 t	3 t																			
小型家電リサイクルの検討	<p>○平成 26 年度から小型家電の分別回収を実施し、平成 29 年度からはパソコンも小型家電として回収を始めた。</p> <p>○回収量</p> <table border="1" data-bbox="454 1556 1428 1646"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小型家電</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>86 t</td> <td>100 t</td> <td>125 t</td> <td>147 t</td> </tr> </tbody> </table>		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	小型家電	—	—	86 t	100 t	125 t	147 t							
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度																
小型家電	—	—	86 t	100 t	125 t	147 t																
雑がみや硬質プラスチック等のRPF化の検討	<p>○埋立ごみの最終処分を民間業者へ委託するに当たり、硬質プラスチック等のRPF化を実施している。</p> <p>○雑がみなどの古紙については、再生利用することを基本としており、現状ではRPF化の検討は行っていない。</p>																					

取組に対する審議会の評価	評価	今後の取組

ウ 最終処分量を減らすための取組について

(ア) 硬質プラスチックや陶器類の選別により、最終処分量を減らす

施策	平成 29 年度の取組状況														
埋立ごみの選別の検討	<p>○平成 27 年 10 月 1 日から、それまで埋立ごみとして回収していた使用済蛍光管の分別回収を開始しており、平成 29 年度からは、新たに使用済電球や水銀含有製品の分別回収を開始した。</p> <p>○埋立ごみからの資源化量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>68 t</td> <td>65 t</td> </tr> </tbody> </table>	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	—	—	—	—	—	68 t	65 t
23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度									
—	—	—	—	—	68 t	65 t									

エ 焼却量を減らすための取組について

(ア) 「雑がみ」、「衣類」の資源化の推進

施策	平成 29 年度の取組状況																																																	
資源化する雑がみ・衣類の周知方法や排出方法の検討	<p>○広報ひこねで、雑がみや衣類のリサイクルについて、啓発を行った。</p>																																																	
生ごみの減量・資源化の取組み方や事例の情報提供	<p>○広報ひこねで「簡易生ごみ処理普及事業の団体募集を行った（2018/3・15号）ほか、食品ロス削減に関する記事（2017/12・1号）を掲載した。</p> <p>○「家庭用生ごみ処理機の使用状況に係るアンケート調査」および「家庭系燃やすごみ組成調査」を実施し、市ホームページや広報ひこねで、その結果を公表し、生ごみ処理機の案内や食品ロス削減の取組方法を紹介した。</p> <p>○食品ロスの削減に係る啓発チラシを作成し、市内の小・中学生および県立大学での環境イベント「ひこねエコフェスタ」来場者に配布した。</p> <p>○情報提供回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0 回</td> <td>0 回</td> <td>1 回</td> <td>2 回</td> <td>2 回</td> <td>2 回</td> <td>2 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○県立大学の「湖風夏祭」、「ひこねエコフェスタ」、彦根総合地方卸売市場主催の「日曜市」にて、簡易生ごみ処理普及団体の協力により、生ごみの減量に関する啓発を実施した。</p> <p>○生ごみ処理機購入補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助件数</td> <td>24 件</td> <td>19 件</td> <td>29 件</td> <td>21 件</td> <td>15 件</td> <td>15 件</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>357 千円</td> <td>282 千円</td> <td>395 千円</td> <td>303 千円</td> <td>216 千円</td> <td>214 千円</td> </tr> <tr> <td>処理機保有件数</td> <td>312 世帯</td> <td>331 世帯</td> <td>360 世帯</td> <td>381 世帯</td> <td>396 世帯</td> <td>411 世帯</td> </tr> <tr> <td>生ごみ削減量 ※</td> <td>45.5 t</td> <td>48.3 t</td> <td>52.5 t</td> <td>62.4 t</td> <td>64.9 t</td> <td>67.2 t</td> </tr> </tbody> </table>	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	0 回	0 回	1 回	2 回	2 回	2 回	2 回		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	補助件数	24 件	19 件	29 件	21 件	15 件	15 件	交付額	357 千円	282 千円	395 千円	303 千円	216 千円	214 千円	処理機保有件数	312 世帯	331 世帯	360 世帯	381 世帯	396 世帯	411 世帯	生ごみ削減量 ※	45.5 t	48.3 t	52.5 t	62.4 t	64.9 t	67.2 t
23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度																																												
0 回	0 回	1 回	2 回	2 回	2 回	2 回																																												
	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度																																												
補助件数	24 件	19 件	29 件	21 件	15 件	15 件																																												
交付額	357 千円	282 千円	395 千円	303 千円	216 千円	214 千円																																												
処理機保有件数	312 世帯	331 世帯	360 世帯	381 世帯	396 世帯	411 世帯																																												
生ごみ削減量 ※	45.5 t	48.3 t	52.5 t	62.4 t	64.9 t	67.2 t																																												

取組に対する審議会の評価	評価	今後の取組

取組に対する審議会の評価	評価	今後の取組

※ 生ごみ削減量 = 1人1日当たりの生ごみ排出量原単位(g) × 処理機保有件数(世帯)
× 平均世帯人口(2.46人) × 365日

※ 1人1日当たりの生ごみ排出量原単位

燃やすごみの性状分析調査における平均組成割合を使用し算出した場合：343g

家庭系燃やすごみ組成調査における厨芥類の割合を使用し算出した場合：182g

(イ)「生ごみ」の減量・資源化の推進

施策	平成 29 年度 の 取組 状況																												
簡易生ごみ処理の普及促進	<p>○広報ひこねにおいて、簡易生ごみ処理普及事業の委託団体募集について掲載した。</p> <p>○「ひこねエコフェスタ」などのイベントで、簡易生ごみ処理普及団体の協力により、簡易生ごみ処理に関するブース展示などを行い、普及啓発に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託件数</td> <td>3 件</td> <td>2 件</td> <td>4 件</td> <td>6 件</td> <td>6 件</td> <td>6 件</td> </tr> <tr> <td>処理器保有件数</td> <td>185 世帯</td> <td>95 世帯</td> <td>147 世帯</td> <td>170 世帯</td> <td>232 世帯</td> <td>254 世帯</td> </tr> <tr> <td>生ごみ削減量</td> <td>27.0 t</td> <td>13.9 t</td> <td>21.5 t</td> <td>27.8 t</td> <td>38.0 t</td> <td>41.5 t</td> </tr> </tbody> </table>		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	委託件数	3 件	2 件	4 件	6 件	6 件	6 件	処理器保有件数	185 世帯	95 世帯	147 世帯	170 世帯	232 世帯	254 世帯	生ごみ削減量	27.0 t	13.9 t	21.5 t	27.8 t	38.0 t	41.5 t
	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度																							
委託件数	3 件	2 件	4 件	6 件	6 件	6 件																							
処理器保有件数	185 世帯	95 世帯	147 世帯	170 世帯	232 世帯	254 世帯																							
生ごみ削減量	27.0 t	13.9 t	21.5 t	27.8 t	38.0 t	41.5 t																							
市民や事業者と連携した堆肥の利用先確保	<p>○簡易生ごみ処理普及事業を委託している団体と協働し、利用先の確保に取り組んだ。</p> <p>○利用先数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> <td>1 件</td> <td>1 件</td> <td>1 件</td> <td>1 件</td> <td>1 件</td> </tr> </tbody> </table>		23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度		0 件	0 件	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件												
	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度																						
	0 件	0 件	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件																						

(ウ)「草木・剪定枝・流木など」の資源化を推進

施策	平成 29 年度 の 取組 状況																
草木・剪定枝・流木などの資源化にかかる調査・研究	<p>○平成 27 年度から草木・剪定枝の資源化(堆肥化)を開始している。</p> <p>○資源化搬出量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>4 t</td> <td>18 t</td> <td>5 t</td> <td>4 t</td> <td>691 t</td> <td>850 t</td> <td>773 t</td> </tr> </tbody> </table>		23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度		4 t	18 t	5 t	4 t	691 t	850 t	773 t
	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度										
	4 t	18 t	5 t	4 t	691 t	850 t	773 t										

--	--	--

取組に対する審議会の評価	評価	今後の取組

取組に対する審議会の評価	評価	今後の取組

地域行動計画編

1 趣旨

彦根市一般廃棄物処理基本計画（平成 25 年度から平成 34 年度）の着実な推進を図っていくためには、市民自らが、地球環境も視野に入れた持続的発展が可能な社会の実現を目指し、廃棄物の減量と資源化の行動を実践する必要がある。市民・市民団体・事業者が実践した行動の進捗状況についても評価を行い、行動計画の取組状況を報告するもの

2 行動計画の取組状況について

(1) 総合実績

ア 目標値と実績値

旧目標値による評価	基準値 (23 年度)	実績値 (28 年度)	実績値 (29 年度)	進捗管理値 (29 年度)	目標値 (34 年度)	評価
1 人 1 日当たりのごみ等 排出量 (g/人・日)	1,086	895	880	975	899	○
1 人 1 日当たりの生ごみ 排出量 (g/人・日) ※	417	377	*1 343	367	320	○
			*2 182			○
古紙・衣類の資源化量 (t)	3,901	3,883	3,775	4,480	5,000	×
出前講座等の参加人数 (人)	600	2,697	1,933	1,909	3,000	○

(参考) 新目標値による評価			実績値 (29 年度)	進捗管理値 (29 年度)	目標値 (34 年度)	評価
1 人 1 日当たりのごみ等 排出量 (g/人・日)	→	→	880	893	870	○
家庭系燃やすごみに含ま れる生ごみの割合 (%)	→	→	37.8	毎年度の家庭 系燃やすごみ 組成調査結果	30.0	-
家庭系燃やすごみに含ま れる紙ごみの割合 (%)	→	→	16.9		13.5	-
古紙・衣類の資源化量 (t)	→	→	3,775	4,053	4,900	×
出前講座等の参加人数 (人)	→	→	1,933	3,000	5,000	×

※ 1 人 1 日当たりの生ごみ排出量

*1 [上段]

清掃センターでの燃やすごみの性状分析調査における平均組成割合を使用し算出しているもので、平成 29 年度では、燃やすごみの水分の平均割合が 46.38% であることから、平成 29 年度の燃やすごみ総量 (28,256 トン) のうち 13,105 トンが水分となり、水分を除いた乾燥重量は、15,151 トンとなる。乾燥重量のうち、厨芥類の平均組成割合は、6.69% であることから、厨芥類の乾燥重量は、1,014 トンとなるが、燃やすごみのうち水分を含むごみとしての大半が厨芥類であることから、水分を加えた 14,119 トンが生ごみ量となる。こ

れを当年度 10 月 1 日時点の人口と 1 年間の日数(365 日または 366 日)で除したもの

*2 [下段]

平成 29 年度に実施した家庭系燃やすごみ組成調査にて、燃やすごみのうち厨芥類の割合が 37.8%であったことから、平成 29 年度の家系燃やすごみ総量 (19,827 トン) のうち 7,495 トンを生ごみ量とし、これを当年度 10 月 1 日時点の人口と 1 年間の日数で除したもの

目標と実績の評価凡例

- ：平成 29 年度実績値は、進捗管理値を達成している。
- △：平成 29 年度実績値は、平成 28 年度と比較して改善しているが、進捗管理値には達していない。
- ×：平成 29 年度実績値は、平成 28 年度と比較して悪化しており、進捗管理値にも達していない。

イ 実績に対する評価

1 人 1 日当たりのごみ等の減量の状況 (資料編：)

1 人 1 日当たりの生ごみ等の減量の状況 (資料編：)

古紙・衣類の資源化の状況 (資料編：)

出前講座等への参加の状況 (資料編：)

(2) 目標ごとの取組状況とその評価

取組状況と評価の詳細を示します。

「評価」の項目については、下記の凡例により評価しています。

定量的評価の凡例 (数値で表せるもの)

- ：平成 29 年度実績値は、進捗管理値を達成している。
- △：平成 29 年度実績値は、平成 28 年度と比較して改善しているが、進捗管理値には達していない。
- ×：平成 29 年度実績値は、平成 28 年度と比較して悪化しており、進捗管理値にも達していない。

定性的評価の凡例（数値で表せないもの）

○：取組は十分されている

△：取組はされているが不十分

×：取組はされていない

ア 1人1日当たりのごみ等排出量を減らすための取組について

施策	平成 29 年度の取組状況														
買い物にはマイバッグを持参する	<p>○市民：買い物には、マイバッグを持参し、レジ袋の削減に取り組んだ。</p> <p>○事業者：レジ袋の無料配布を中止し、レジ袋の配布削減に取り組んだ。</p> <p>○市：広報ひこねを通じてマイバッグの持参を啓発した。</p> <p>○マイバッグ持参率（レジ袋平均辞退率）</p> <table border="1"> <tr> <td>23年度</td> <td>24年度</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>51.6%</td> <td>89.2%</td> <td>89.7%</td> <td>89.9%</td> <td>89.5%</td> <td>??.%</td> </tr> </table> <p>（滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会の集計から）</p>	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	—	51.6%	89.2%	89.7%	89.9%	89.5%	??.%
23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度									
—	51.6%	89.2%	89.7%	89.9%	89.5%	??.%									
エコマーケット（フリーマーケット）を開催する	<p>○市民団体：さまざまなイベントと連携し、エコマーケットを開催した。</p> <p>○市民：エコマーケットに参加し、ものを大切にすることを意識を高めるとともに再使用に貢献した。</p> <p>○市：エコマーケットの開催、出店者の募集案内および開催場所の確保など、開催に係る支援を行った。</p> <p>○エコマーケット開催数</p> <table border="1"> <tr> <td>23年度</td> <td>24年度</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> </tr> <tr> <td>8回</td> <td>8回</td> <td>7回</td> <td>7回</td> <td>9回</td> <td>9回</td> <td>8回</td> </tr> </table>	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	8回	8回	7回	7回	9回	9回	8回
23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度									
8回	8回	7回	7回	9回	9回	8回									

イ 1人1日当たりの生ごみ排出量を減らすための取組について

施策	平成 29 年度の取組状況																																																															
生ごみの減量・資源化の推進	<p>○市：生ごみ処理機購入補助金の周知と交付を行った。（補助金の額は、購入費用の1/3以内の額とし、1基につき上限15,000円）</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>24年度</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> </tr> <tr> <td>補助件数</td> <td>24件</td> <td>19件</td> <td>29件</td> <td>21件</td> <td>15件</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>357千円</td> <td>282千円</td> <td>395千円</td> <td>303千円</td> <td>216千円</td> <td>214千円</td> </tr> <tr> <td>処理機保有件数</td> <td>312世帯</td> <td>331世帯</td> <td>360世帯</td> <td>381世帯</td> <td>396世帯</td> <td>411世帯</td> </tr> <tr> <td>生ごみ削減量</td> <td>45.5t</td> <td>48.3t</td> <td>52.5t</td> <td>62.4t</td> <td>64.9t</td> <td>67.2t</td> </tr> </table> <p>○市：生ごみ処理機の使用状況を確認するため、補助金の交付を受けた人を対象に「家庭用生ごみ処理機の使用状況に係るアンケート調査」を実施した。</p> <p>○市民：生ごみ処理機の使用、食べ残しをしないなど生ごみの減量に取り組んだ。</p> <p>○市：簡易生ごみ処理普及事業の委託と新規団体の募集を行い、普及促進を図った。</p> <p>○市民団体・市民：簡易生ごみ処理を実践し、生ごみを削減した。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>24年度</td> <td>25年度</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> </tr> <tr> <td>委託件数</td> <td>3件</td> <td>2件</td> <td>4件</td> <td>6件</td> <td>6件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>処理器保有件数</td> <td>185世帯</td> <td>95世帯</td> <td>147世帯</td> <td>170世帯</td> <td>232世帯</td> <td>254世帯</td> </tr> <tr> <td>生ごみ削減量</td> <td>27.0t</td> <td>13.9t</td> <td>21.5t</td> <td>27.8t</td> <td>38.0t</td> <td>41.5t</td> </tr> </table> <p>○市民団体・市民・市：ひこねエコフェスタなどのイベントで簡易生ごみ処理に関するブースを展示し、普及啓発に努めた。</p>		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	補助件数	24件	19件	29件	21件	15件	15件	交付額	357千円	282千円	395千円	303千円	216千円	214千円	処理機保有件数	312世帯	331世帯	360世帯	381世帯	396世帯	411世帯	生ごみ削減量	45.5t	48.3t	52.5t	62.4t	64.9t	67.2t		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	委託件数	3件	2件	4件	6件	6件	6件	処理器保有件数	185世帯	95世帯	147世帯	170世帯	232世帯	254世帯	生ごみ削減量	27.0t	13.9t	21.5t	27.8t	38.0t	41.5t
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度																																																										
補助件数	24件	19件	29件	21件	15件	15件																																																										
交付額	357千円	282千円	395千円	303千円	216千円	214千円																																																										
処理機保有件数	312世帯	331世帯	360世帯	381世帯	396世帯	411世帯																																																										
生ごみ削減量	45.5t	48.3t	52.5t	62.4t	64.9t	67.2t																																																										
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度																																																										
委託件数	3件	2件	4件	6件	6件	6件																																																										
処理器保有件数	185世帯	95世帯	147世帯	170世帯	232世帯	254世帯																																																										
生ごみ削減量	27.0t	13.9t	21.5t	27.8t	38.0t	41.5t																																																										

取組に対する審議会の評価	評価	今後の取組

取組に対する審議会の評価	評価	今後の取組

ウ 古紙・衣類の資源化量を増やすための取組について

施策	平成 29 年度の取組状況																												
古紙・衣類の資源化の推進	<p>○市：自治会やPTAなどが実施する古紙・衣類の集団回収に対して、奨励金を交付した。（奨励金の額は、新聞紙、雑誌、雑がみ、ダンボール、紙パック、衣類の回収重量 1 kgにつき 2 円）</p> <p>○市：集団回収が実施されていない地域を中心に行政回収を実施した。</p> <p>○事業者：店舗に回収拠点を設置し、古紙の回収を促進した。 （5 事業者 9 店舗）</p> <p>○市民：さまざまな回収機会を利用し、古紙・衣類の資源化に取り組んだ。</p> <p>○古紙・衣類の回収量</p> <table border="1" data-bbox="456 651 1492 808"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集団回収量</td> <td>2,853 t</td> <td>2,753 t</td> <td>2,594 t</td> <td>2,384 t</td> <td>2,210 t</td> <td>2,013 t</td> </tr> <tr> <td>行政回収量</td> <td>587 t</td> <td>600 t</td> <td>558 t</td> <td>546 t</td> <td>509 t</td> <td>523 t</td> </tr> <tr> <td>店舗回収量</td> <td>563 t</td> <td>626 t</td> <td>805 t</td> <td>1,127 t</td> <td>1,164 t</td> <td>1,239 t</td> </tr> </tbody> </table>		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	集団回収量	2,853 t	2,753 t	2,594 t	2,384 t	2,210 t	2,013 t	行政回収量	587 t	600 t	558 t	546 t	509 t	523 t	店舗回収量	563 t	626 t	805 t	1,127 t	1,164 t	1,239 t
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度																							
集団回収量	2,853 t	2,753 t	2,594 t	2,384 t	2,210 t	2,013 t																							
行政回収量	587 t	600 t	558 t	546 t	509 t	523 t																							
店舗回収量	563 t	626 t	805 t	1,127 t	1,164 t	1,239 t																							

エ 出前講座やイベントへの参加者数を増やすための取組について

施策	平成 29 年度の取組状況																																										
出前講座やイベントに参加	<p>○市：自治会などに対し、ごみの分別方法や彦根市のごみの問題などについての出前講座を実施した。</p> <p>○市民：出前講座に参加し、彦根市のごみの分別方法やごみの問題を学び資源化に取り組んだ。</p> <p>○出前講座開催数および参加者数</p> <table border="1" data-bbox="456 1294 1492 1420"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催数</td> <td>8回</td> <td>13回</td> <td>17回</td> <td>25回</td> <td>26回</td> <td>21回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>643人</td> <td>960人</td> <td>1,219人</td> <td>1,434人</td> <td>1,657人</td> <td>633人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○市：滋賀県立大学の「湖風夏祭」や「湖風祭」で、ごみの減量と資源化に関する啓発ブースを出展した。</p> <p>○市民団体・学生・事業者：イベントにおいて、啓発ブースを出展し、運営協力を行った。</p> <p>○市民：啓発イベントに参加し、ごみの問題に関する見識を深めた。</p> <p>○啓発イベント開催数および参加者数</p> <table border="1" data-bbox="456 1697 1492 1823"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催数</td> <td>1回</td> <td>2回</td> <td>1回</td> <td>2回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>300人</td> <td>885人</td> <td>700人</td> <td>700人</td> <td>1,040人</td> <td>1,300人</td> </tr> </tbody> </table>		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	開催数	8回	13回	17回	25回	26回	21回	参加者数	643人	960人	1,219人	1,434人	1,657人	633人		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	開催数	1回	2回	1回	2回	3回	3回	参加者数	300人	885人	700人	700人	1,040人	1,300人
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度																																					
開催数	8回	13回	17回	25回	26回	21回																																					
参加者数	643人	960人	1,219人	1,434人	1,657人	633人																																					
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度																																					
開催数	1回	2回	1回	2回	3回	3回																																					
参加者数	300人	885人	700人	700人	1,040人	1,300人																																					

取組に対する審議会の評価	評価	今後の取組

取組に対する審議会の評価	評価	今後の取組

総合評価